



歯科診療室だより

公立みつぎ総合病院

34号

令和5年9月8日

コロナ禍での歯科保健事業

7月14日に開催された広島県国民健康保険診療施設歯科保健研修会で「コロナ禍での歯科保健事業」について広島県の6施設が報告を行いました。右の写真は当院の歯科衛生士が報告を行っているところです。各施設、この4年間コロナ禍でも開催できた歯科保健事業やできなかった歯科保健事業そして再開できた歯科保健事業など各施設工夫をし、感染に注意をしながら継続した歯科保健事業を展開されていました。また、ITを活用した歯科保健事業などコロナ禍であったからこそ新しく導入された歯科保健事業も有りとても参考になりました。



フッ素配合歯磨剤 ～その1～

フッ素入り歯磨きのテレビコマーシャルをよく見かけるようになりました。本当にフッ素入り歯磨剤は虫歯予防に効果があるのでしょうか？ 歯科の4つの学会（日本口腔衛生学会・日本小児歯科学会・日本歯科保存学会・日本老年歯科医学会）が合同で推奨されるフッ化物配合歯磨剤の利用方法について発表しています。今回は歯が生え始めてから2歳までの乳幼児について紹介します。

年齢

歯が生えてから2歳まで

使用量

米粒程度(1～2mm程度)

フッ化物濃度

1000mF

(日本の製品を踏まえ)
(900mF～1000mF)



【使用方法】

就寝前を含めて1日2回の歯みがきを行う。

1000 ppmFの歯磨剤をごく少量使用する。歯みがきの後にティッシュなどで歯磨剤を軽く拭き取ってもよい。

歯磨剤は子どもの手が届かない所に保管する。

歯みがきについて専門家のアドバイスを受ける。

【注意事項】

乳歯が生え始めたら、ガーゼやコットンを使ってお口のケアの練習を始める。歯ブラシに慣れてきたら、歯ブラシを用いた保護者による歯みがきを開始する。

子どもが誤って歯磨剤のチューブごと食べるなど大量に飲み込まないように注意する。

文責 診療部長 占部秀徳